

大倉喜八郎記念学術芸術振興会
学術シンポジウム

1900年・英国ケンブリッジ〈トリニティ・カレッジ〉の大倉喜七郎



【特別ゲスト】

小山

のぼる

騰

(元ケンブリッジ大学図書館日本部長)

【コメンテーター】

村上

勝彦

(元東京経済大学学長、公益財団法人大倉文化財団理事長)

【司会・コーディネート】

長谷川

倫子

(東京経済大学コミュニケーション学部教授)

2018年

11月24日(土) (開場 14:00)
開演 15:00

会場：東京経済大学 国分寺キャンパス 大倉喜八郎 進一層館(フォワードホール)

参加費：無料

※未就学児は入場不可。

申込方法：事前申込制。裏面の申込用紙にご記入の上、FAXまたは郵便でお送りください。
また、本学ウェブサイトからもお申し込みいただけます(電話では受け付けておりません)。

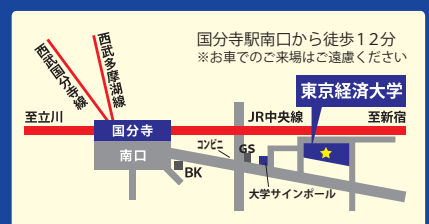
申込締切：2018年11月19日(月)

※ただし、定員に達し次第、申込受付は終了となります。

定員：先着300名 ※申込順に予約券を発送いたします。

主催：東京経済大学・大倉喜八郎記念東京経済大学学術芸術振興会

【国分寺駅からのアクセス】



東京経済大学



要 旨

1900年(明治33年)5月4日、のちに東京経済大学となる大倉商業学校の創設者である大倉喜八郎、その妻徳子、嫡男喜七郎を乗せた客船エンプレス・オブ・インディアは横浜港からヨーロッパを目指して出航した。この年は、喜八郎にとって、長年の念願だった大倉商業学校開設が実現した年であると同時に、息子の喜七郎を英国ケンブリッジの名門校である<トリニティ・カレッジ>留学のために渡英させた記念すべき年でもあった。

ケンブリッジ<トリニティ・カレッジ>での喜七郎は、ロールス・ロイス創業者でもあったチャールズ・ロールズらを中心とした仲間たちの知遇を得て、世界で初めて開設されたカーレース場(英国、ブルックランズ)で、チャンピオンシップをかけた史上初のカーレースに出場。メカニックもマスターし、イタリアで調達した創業直後のFIAT社の車は、帰国時のお土産として持ち帰った。また、<トリニティ・カレッジ>のボート部のメンバーとしてボートレースにも出場するなど、ケンブリッジ時代の喜七郎の果敢な挑戦は、その後の近代日本の国際リゾートのパイオニアとしての事業活動や数々の社会的貢献や文化活動の出発点となったのではない。

父喜八郎の長年の夢だった大倉商業学校が産声を上げた頃に、遙か離れた英国でチャレンジ精神を発揮した息子喜七郎が見た世界とは? 20世紀初頭のケンブリッジで繰り広げられた喜七郎の桁外れの学生生活とヨーロッパ屈指の伝統校で得たかけがえのない友人たちと過ごした日々はどのようなものだったのだろうか。

栄えある名門校の扉をたたいた日本人留學生のパイオニア大倉喜七郎の<トリニティ・カレッジ>時代の足跡をたどる。

小山 騰 (こやま・のぼる)

[元ケンブリッジ大学図書館日本部長]1985年から2015年まで、ケンブリッジ大学図書館で日本語コレクションを担当した。著書は『ロンドン日本人村を作った男 謎の興行師タナカー・ブヒクロサン 1839-94』藤原書店(2015年)、『破天荒く明治留學生>列伝』講談社(1999年)、『国際結婚第一号 明治人たちの離婚事始』講談社(1995年)など多数。ケンブリッジ在住。

下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵便でお送りください。

本学ウェブサイトからもお申しいただけます。(※電話では受け付けておりません)

お申込先

東京経済大学 広報課

〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34

FAX 042-328-7768

WEB <http://www.tku.ac.jp/>

申込締切: 2018年11月19日(月) 必着

英国ケンブリッジの大倉喜七郎 学術シンポジウム 申込用紙

住所 〒 都 道 市 区
府 県 町 村

1124

フリガナ
氏名

電話番号

参加人数(会員含む) 名 (うち学生・生徒・児童) → 名 FAX 番号

■該当する区分にチェック✓を入れて下さい

大倉正会員・一般会員

本学・他学学生 / 生徒 / 児童 本学卒業生

本学・他学教職員 市民・その他

■以下をご希望の場合はチェック✓を入れて下さい。

★今後、大倉記念学芸振興会の企画イベントの案内送付 →

★大倉記念学芸振興会の加入案内の送付 →